

非核の政府を 求める大阪の会

第208号 ニュース

豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 (新谷町第3ビル210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・https://hikaku-osaka.jp/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp

第208号 2022年3月1日

核兵器禁止条約発効2年目を “廃絶への歴史的転換点に”



今こそ、非核の政府を

非核の政府を求める大阪の会は、2月19日午後から、大阪市内で第36回年次総会をオンライン併用で開催しました。

開会のあいさつの中に、豊島達哉事務局長から「活動報告と情勢」「今年の活動方針」と「二〇二二年度収支報告及び二〇二二年度予算案」「今年度の世話人」の提案を行いました。今年予定されている締約国会議（オース

参加を表明しています。世界の流れは着実に“核兵器のない世界”に向かっています。ところが広島選出の岸田首相は「核兵器禁止条約」に完全に背を向け、さらにマスコミをとりこんだ改憲勢力の維新の政策と国民との矛盾を顕在化させていく必要を指摘。こうした国内外の情勢をうけて「戦争と感染症」「地球的規模の環境問題」「ジェンダーと非核」などの新たな課題・問題提起を行いました。参加者からその内容を深める発言が相次ぎました。今夏の参議院選挙に関連して改憲勢力の危険性を訴えた内海府会議員、八尾平和委員会の奥村さん。国際会議の豊かな経験を踏まえて被爆の実相を伝えることの重要性を指摘された長尾さん。地球環境の解決を人類的視点

トリア)には、ドイツなどNATO加盟国(核の傘)もオプザバー参加を表明しています。世界の流れは着実に“核兵器のない世界”に向かっています。ところが広島選出の岸田首相は「核兵器禁止条約」に完全に背を向け、さらにマスコミをとりこんだ改憲勢力の維新の政策と国民との矛盾を顕在化させていく必要を指摘。こうした国内外の情勢をうけて「戦争と感染症」「地球的規模の環境問題」「ジェンダーと非核」などの新たな課題・問題提起を行いました。参加者からその内容を深める発言が相次ぎました。今夏の参議院選挙に関連して改憲勢力の危険性を訴えた内海府会議員、八尾平和委員会の奥村さん。国際会議の豊かな経験を踏まえて被爆の実相を伝えることの重要性を指摘された長尾さん。地球環境の解決を人類的視点で解決すべきと指摘される藤永さん。歴代の日本政府の原発と原爆は密接不可分の政策を取っている、と指摘される吉井さん。充実した意見交流ののち、開会のあいさつで岩田常任世話人は、非核の会の活動がますます重要性を増している、として会員のみなさんの協力を訴えました。

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求めるとされる非核三原則を厳守する
 - ② 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
 - ③ 国家補償による被爆者援護法を制定する
 - ④ 原水爆禁止世界大会のこれまで強化する
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまで強化する



ました。署名には若い高校生も積極的に応じて、ベテランの活動家から話を聞く姿がありました。

シリーズ大阪における国民 平和行進の歩み

⑤ 64年の平和行進 統一の旗を高く掲げて の国民平和行進を展開

1963年第9回原

水爆禁止世界大会は、さまざまな困難を克服して大きな成功をおさめました。大会で採択された決議には「原水爆禁止運動が見解の相違を理由にこれらの課題にとりくむことをおこたるならば、それは核戦争阻止、核兵器禁止のためにはたかう日本国民と世界諸国民にはかり知れない失望と打撃を与えることとなるであろう。一致できない問題については困難をさげることなく、しんぼう強く話し合いを継続していかなければなりません。私たちはいますぐこの一致しうる緊急課題の解決にとりかからなければなりません。」
大阪では、再三、再四にわたり大阪原水協の再開を加盟団体は求めました。64年1



月13日に「大阪原水協加盟連絡会議」を足させて活動に取り組みました。参加の呼びかけは社会党府連、総評大阪地評をはじめすべての団体や地域原水協に対して行われました。ところが、大阪総評は1月24日「第三原水協」といふべき「原水爆禁止・全面軍縮大阪府協議会」準備会の結成総会を行いました。大阪総評の2月11日付機関紙には「原水協とは別個の強大な組織を」の特集号(右写真)を発行して分裂組織の固定化をリードしてきました。
1964年第10回世界大会は、日本原水協

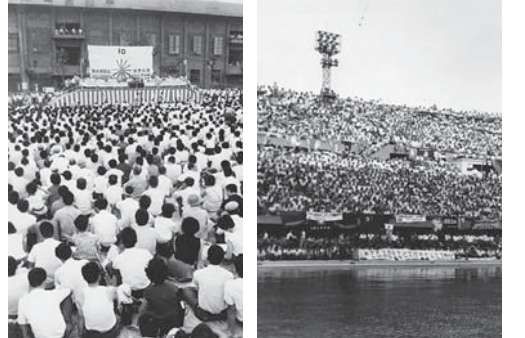
の統一と団結の路線を大きく確立する大会として全国100万人集会所(約3万人)でとりくまれました。8月3日午後2時から「集結平和行進」が始まり、大阪は知恩院境内に集合して会場(京都府立グランド)に向かいました。全自交大阪地連の機関紙に次のように報じられています。「私たちはバスで京都知恩院に行き、そこから府立大グランドまで6キロの行程平和行進致しました。町々に立った歓迎看板、ショーウインドのポスター。タクシードにはられている原水禁大会万歳の美しいポスター、至る所の氷水の接待所、通行人やビル、病院の窓々で声援を送ってくれる人びと・・・行進の終着地点府立大グランドは山々を背に加茂の流れ



▲日本原水協提供

にはさまれた景勝の地でした。夕日が西に傾くころグランドは平和を熱愛する国内外の代表3万5千人でぎっしり埋まっています。行進途中から土砂降りの雨の中の行進となりましたが、歌声を響かせての行進となりました。午後6時から京都府立グランドで開会総会が始まりました。なお、大阪での世界大会閉会総会は、大阪の平和勢力の総力をあげたとりくみとなり、会場の大阪プールは満員となり、会場外の第2会場(扇町公園)にも熱気が満ち溢れていました。
大阪においては、世界大会の前段階のとりくみとして6月2日から8日まで「沖繩解放

国民大行進」の行動を出発点として位置付けて活動しました。府下の行進には延べ5千人の人々が参加しました。東京から鹿児島も行進には、全自交大阪地連(当時)の組合員が通し行進者として110日間の沖繩行進に参加しました。
(文責 加賀耕平)
写真は大阪平和を守る会提供

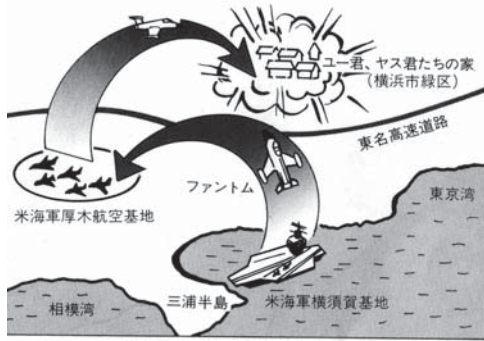




第二回目は子供向けの書籍(絵本)を紹介します。草土文化から発行している「アニメ絵本 パパママ バイバイ」です。原作は早乙女勝元氏、文は山形雄策氏で、絵は東映動画です。アニメ映画の子どもたちと家族のお話です。お話しは創作ですが、題材に取り上げた事件、米軍機墜落事件そのものは、神奈川県横浜市で実際に起こったものです。その事件は、1977年9月27日の午後一時過ぎ、横須賀から出航す



る空母ミッドウエーを追って、厚木基地から飛び立った米軍海兵隊の戦術偵察機Fアントムが、離陸直後に燃料満載の状態に住宅地に墜落した事件です。3歳と1歳の男児が全身火傷により翌日なくなりました。お母さんは全国から皮膚の提供をうけて移植手術などされましたが、4年後死亡されました。子どもたちの死亡を知らされたのは、1年3ヶ月後のことでした。米軍兵士2名は緊急脱出して無事、事故30分後に飛来した自衛隊ヘリコプターによって収容さ



横須賀、厚木基地と墜落地点

れて基地に帰還しました。米軍関係者は、日米地位協定をたてに真つ先に現場にいた日本人を締め出し、エンジンなどを回収していました。原因究明は日本側からは一切できなかつ

た事件です。沖縄などの米軍基地からのコロナ禍問題で地位協定の問題が取り上げられています。今から45年前に20軒の住宅が焼失し、9人の死傷者がでた事件は地位協定の問題を忘れてはいけません。親と子どもと一緒に考えていく絵本です。

意見広告ポスターが完成

多くの団体・個人の賛同・協力を得て作製した、2021年の非核意見広告ポスターが完成し、活用が始まっています。御賛同いただいた皆さまに感謝致します。

核兵器禁止条約が、各国と市民社会の努力によって、昨年1月22日に発効し、核兵器禁止が世界のルールとなりました。しかし唯一の戦争被爆国である日本政府



は、被爆者や市民社会など世界の圧倒的多数の人々の声に背を向け、未だに署名・批准することを拒み続けるなど、核兵器廃絶を永遠に先送りする立場に立ち続けています。

今回の意見広告ポスターは、コロナ禍対策に、国際社会が総力を結集して立ち向かっている最中に、核兵器に莫大な資金を投じ続けて恥じない核保有国に警鐘を鳴らし、核兵器廃絶へ向けて大きく前進することを願い作成しました。

「たたかいはこれから」と確認。昼は、新宿駅西口で報告宣伝。午後、日本原水協の会議。夕方、日本共産党

生に、そして非核の日本の実現に向けて役立つことを願っています。なお、事務局員がコロナ禍の濃厚接触者となり、完成しました意見広告ポスターの配送が大幅に遅れてしまいました。お詫びを申し上げます。

核なき世界をめざして⑥

2015年 戦争法施行直後に「ヒバクシャ遊説 in ヨーロッパ」(手書き)

これまでの生涯で、未明から夜までくつきりと覚えている日があります。2015年9月19日、戦争法強行採決の日です。前日から午前2時まで国会前で「戦争法案、絶対反対」「野党は共闘」と声を上げ続ける中、強行採決。真夜中の怒りの集会。早朝、国会前で「たたかいはこれから」と確認。昼は、新宿駅西口で報告宣伝。午後、日本原水協の会議。夕方、日本共産党

第4回中央委員会総会が、「戦争法廃止の国民連合政府」の実現を呼びかけました。その日から、「選挙でも野党は共闘」の流れが始まったのです。

直後の2015年10月4日から、私は「ヒバクシャ遊説 in ヨーロッパ」(日本原水協主催)に参加しました。ヒバクシャ証言と、私の日本のたたかひの報告は、スペイン↓フランス↓イギリス、どこでも熱く受けとめられました。

10月7日夕方、スペインからパリに到着。休む間もなく、8人乗りのキヤラバンカーで北西部ブルターニュ地方に移動。私は、6時間以上の移動中、なんと真ん中の席で体育すわり。そして、数時間の睡眠の後、ロング島の原子力潜水艦基地前で核兵器廃絶を求めるデモ。このツアー一番の強行軍でしたが、「ブルターニュにも世界にも核爆弾はいらない」という横断幕をもった

平和団体「フランス平和運動」のみなさんの隣で、全労連の横断幕を広げてアピール。この様子はテレビで報道されたそうです。

フランスが保有する約300基の核弾頭の9割が保管されているブルターニュ地方。核保有国の核基地の前で、保有国の方々と一緒に「核兵器にノン！」と声をあげたのです。2015年NPT再検討会議では、圧倒的多数の非核保有国が核兵器禁止条約の交渉開始を求めたのに、フランスを含む核保有国が強硬に反発して、最終文書を採用できませんでしたが、核保有国での平和運動が重要だと取り組み強化を約束しあつた行動でした。

基地行動の後は、「フランス平和運動」の地域支部()の小集会、夜は、市民ホールでシンポジウム。どこでも、ヒバクシャ証言に衝撃の声が上がります。「核兵器の非人道的結末」を知った人々は、自分



▲10月8日 ブルターニュ地方ロング島の原潜基地前にて

のことして運動に

加する決意を固めていくのだと思います。感動的な集会になりました。

戦争法と安倍首相への質問が出ると、私の出番です。2015年春から秋の「総がかり行動」の盛り上がり、青年・学者・ママの運動や共同の広がりを伝えます。そして、「安倍首相の危険性とたたかうには野党共闘しかない」と語ると、拍手が起ります。「フランス

人民戦線」

の歴史を持つ

つ国だから

でしようか

アラゴンの

詩「神を信

じたものも

／信じなか

ったものも

／ドイツ兵

にとらわれ

た・神を

信じたもの

も／信じな

かったもの

も／その足

跡は輝いて

いた・・・

が浮かびました。

また、ブルターニュの州都レンヌで、フランス労働総同盟(CGT)と懇談。市民と野

党の共闘、労働組合の平和運動について語り合いました。この懇談は、CGTの機関紙一面に掲載されました。

日本の「戦争する国」への動きを世界が心配していることを実感したツアーでした。

長尾ゆり(非核の政府を求める大阪の会常任世話人)

非核の政府を求める大阪の会第36回年次総会

メッセージ・祝電

ありがとうございました!!

【自治体】

- 広島市長
- 枚方市長
- 阪南市長
- 岸和田市長
- 交野市長
- 島本町長
- 岬町長

- 松井一實
- 伏見隆
- 水野謙二
- 永野耕平
- 黒田実
- 山田紘平
- 田代堯

- 長崎市長
- 堺市長
- 摂津市長
- 寝屋川市長
- 和泉市長
- 太子町長

- 田上富久
- 永藤英機
- 森山一正
- 広瀬慶輔
- 辻宏康
- 田中祐二

【団体】

- 非核の政府を求める滋賀の会
- 大阪府保険医協会
- 関西合同法律事務所
- 大阪商工団体連合会
- 全大阪労働組合総連合
- 大阪自治体労働組合総連合
- 吹田市職員労働組合
- 日本共産党堺市議会議員団

- 非核の政府を求める和歌山県民の会
- 大阪民主医療機関連合会
- 進歩と革新をめざす大阪の会
- 全大阪生活と健康を守る会連合会
- 大阪府立高等学校教職員組合
- 全国福祉保育労働組合大阪地方本部
- 大阪市役所労働組合

(順不同・敬称及び代表者名略)

案内

これからのとりくみ

❖ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟
日時：3月18日(金) 11:45
高裁判決(11:05より若松浜公園にて判決前集会)

❖2022なくせ原発!再稼働はんたい!おおさか大集会
日時：3月6日(日) 14:00
会場：エル・シアター+オンライン

❖大阪革新懇シンポジウム
「府民の願いと大阪の未来」
日時：3月27日(日) 14:00
会場：大阪私学会館+オンライン

❖維新政治ノー!市民連帯集会
日時：3月27日(日) 14:00
会場：大淀コミュニティセンター